

どんぐり拾いイベント実施報告

<どんぐり拾い、まき付け、木の実のクラフトづくり>

- 1 日時：平成25年11月24日（日）10：00～14：00
- 2 場所：佐鳴湖公園西岸
- 3 参加者：30人（子ども14人、大人16人）
- 4 参加インストラクター
岩崎（幹事）、小川、小久保、広野（幹事）、藤田（主幹事）
- 5 実施概要
 - (1) この日は天気も良く佐鳴湖北岸で大きなイベントがあり駐車場の混雑が予想されたので、スタッフは集合時間を繰り上げ集合場所の時計台に9時20分に集まった。
しかし、大した混雑もなく定刻の10分過ぎには参加者24人が集合して始めることができた。なお、募集定員を30人としたので、「飛び入り歓迎」で、6人の方が飛び入りしてくれた。
 - (2) 最初に、当会が作成した「どんぐりのことをもっと知ろう」の冊子を使って、いろいろなどんぐりの種類やまき付け方を説明し、「今日から、みんな、どんぐり博士になろう。」を合言葉にした。（写真1）
 - (3) どんぐり拾いは、コナラ、カシノキ、ウバメガシ、その他の4つに区分して行うことにし、1家族4つのビニール袋をもって出発した。
 - (4) 今年はどんぐりが豊作でコナラやカシノキが足の踏み場がないほど落ちているところもあり、特にこの場所はウバメガシが生育していて、ふだんあまり見かけないどんぐりに「お尻が曲がってる！お皿が小さい！」などと、歓声をあげながらどんぐり拾いをした。（写真2）
 - (5) 1時間30分ほどで元の時計台に戻って、コナラ、カシノキ、ウバメガシの名前を書いた、3つの水の入ったバケツにどんぐりを入れ、浮いているものなどを捨てたりして選別した。
 - (6) まき付けはビニールポット（10.5cm）1個に3粒まき、1種類20鉢ずつ、合わせて60鉢にまき付けた。その後で、お家へ持ち帰り用も1家族3鉢ずつ作った。（写真3）
 - (7) 昼食後、木の実のクラフト「SL」と「トラック」づくりを行った。大人も子どもも全員が1個ずつ、親子がいっしょになって作った。拾ったどんぐりの実やお皿、ヤシャブシなどを飾り付けて、素敵な作品ができあがった。（写真4、5、6）
 - (8) 以上、おだやかな小春日和の中、佐鳴湖湖畔での「どんぐりひろい」イベントを楽しんだ。

なお、このイベントは、「公益信託しずぎんふるさと環境保全基金」の助成を受けて行いました。

（報告者：藤田久男）

<実施写真>



写真1

出発前の「ドングリのことをもっと知ろう」



写真2

ドングリ拾い



写真3
ドングリのまき付け



写真4
木の実のクラフトづくり



写真5
クラフト作品
「SL」



写真6
クラフト作品
「トラック」

以上